

平成 30 年度 吹田市地域自立支援協議会

専門部会報告書

【部会名： 当事者部会】

1 これまで検討した課題への取組みについて

課題	当事者のニーズは多岐に渡っていて、一つ一つ課題の抽出はできても整理がなかなかできない。障がい者理解を深めるための部会という立ち位置から、地域との直接的な関わりを深めていく必要があるが、どのようにアプローチしていくか？
取組み 内容	・毎月の定例会議で年間計画をもとにした「知る」「伝える」「学ぶ」の三本柱を着実に実践していくための機会を協議検討。 ・障がい者理解を深めるため及び社会参加を促進するための行事の実施。
まとめ	地域とのつながりがない中で日常生活に不安を感じている。どうやって地域とつながっていけばよいか当事者部会から発信し、自立支援協議会で考えていきたい。

2 部会の構成メンバー

全身性障がい 6 人、視覚障がい 2 人、聴覚障がい 1 人、知的障がい 1 人、内部障がい 1 人

3 開催状況

定例会（月 1 回 第 3 木曜）

- ・当事者が日常で感じることを発表するリレートーク（毎月）
- ・日常生活における障がい者に関する事案についての事例検討（毎月）
岸部建都のバリアカー等の問題、天災にどう備えるか、障がい者雇用水増し問題、コンサート入場拒否問題、合理的配慮の好事例等
- ・各種制度について当事者自身が学ぶ学習会（3 回）
入院時コミュニケーション、地域福祉、防災

10 月 13 日 手ぶらで気軽にバーベキュー（障害の有無に関係なく交流）

11 月 29 日 出張しゃべり場（ワークセンターくすの木に出向き当事者同士が交流）

4 今後の予定

3 月（予定）部会研修会（障がい者の人権について）